
華咲狂華

リアルでも目立たない人種

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

華咲狂華

【Nコード】

N9647Y

【作者名】

リアルでも目立たない人種

【あらすじ】

あらすじのようなものではありません
フィクションです。

(前書き)

フィクションです。事実とは一切無関係です。これが原因で何かが起こったとしても、一切の責任を負いかねます。
自己責任でお願いします。

「ねえ、僕のコト「愛してる」？」
彼の言葉を、そのまま言ってみた。

「嗚呼、愛してるよ」

ユウキがどんな意味で言ったのかは判らない。でも、僕はその音が嬉しかった。

暗闇

影覆う広がり、

後ろから抱き締めるユウキと、そうされる僕が、

シート皺寄らせて、佇む、寝台

仄かに息が熱く、首筋から耳に

目は捉える、僕の細い足、その先の闇

確かな感触は、触れている物だけ、心許ない

月光は差し、空間を切り取る、窓を枠に

きつと、外からは、法悦的な画の部分が覗ける

空気は冷たく、夜空と同じく藍、静かに明るく澄んで

お月様の目の届かない此処で

僕等は光景となる、俄かに明るみに出て

温かな感触が、僕に息をさせない

熱を持つ感覚が、僕に息を弾ませる

息苦しくて、生き苦しい

水面下の静閑さ

影は覆う僕の身体

闇夜は包む僕の神経

暗黒は匿す僕の秘密

月光囲う世界の中で、月知らぬ僕

夢の中に

眠りの時に

安らぎの底に

後ろから、それは闇夜、影、黒、夢、眠りへの誘い、安らぎ

愛撫、抱擁、甘蜜

漏れては、零れては、曝しては、出してしまっは
いけない

形の無い暗夜の夢

唯、懐う幻影は

彼

(後書き)

解釈は、自由です。

ユウキが彼なのか？

主人公は男性なのか？

ユウキは女性なのか？

ユウキは姓／名どちらか？

一切の責任は、負いかねます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9647y/>

華咲狂華

2011年11月28日23時58分発行